

議 事 録

件 名	第 5 回 登別市水道ビジョン検討委員会	
日 時	平成 27 年 7 月 30 日 (木)	自 17 : 30 ~ 至 19 : 30

検 討 委 員 会 内 容

1. 開会

- ・第 5 回 登別市水道ビジョン検討委員会を開会。

2. 議題

【第 4 回登別市検討委員会の議事録】

- ・事務局より第 4 回登別市検討委員会の議事録について説明し、内容に対して各委員の了承を得た。

【検討委員会の今後のスケジュールについて】

- ・事務局より検討委員会の今後のスケジュールについて説明を行った。
 - 8 月 観光・経済委員会へ情報提供
 - 9 月 広報 (ダイジェスト版)
 - 10 月～11 月 パブリックコメント
 - 12 月 第 6 回検討委員会
 - 1 月 観光・経済委員会へ情報提供
 - 2 月 登別市水道事業ビジョンホームページにて公表
- ・事務局より、第 6 回検討委員会では、今回頂く意見及び第 6 回検討委員会で頂く意見を提言としてまとめた旨を説明した。

【登別市水道事業ビジョン原案について】

- ・ビジョン原案は本編と資料編を作成した。
- ・今回作成したビジョン原案をもって、ダイジェスト版を作成し、パブリックコメントとして公表する。
- ・事務局より、本編の各章の概要及び資料編の内容について説明を行った。

【質疑応答】

(委員)

- ・表紙の写真は、清涼感のある水に関する写真の方がよいのではないか。
- ・見やすい字体、色合いとすべきであり、色弱者に対しても配慮が必要ではないか。
- ・P4 安全、持続、強靱に対して、どうすれば安全な水となるのか、どうすれば健全な事業運営ができるかを記載した方がよいのでは。
- ・P16 P4 と同じ内容が記載されている。
- ・P2 登別市の総合計画を基にビジョンを作成しているが、水道の総合計画は無いのか。
- ・P7、P12 似たようなタイトルとなっており分かりづらい。

(事務局)

- ・表紙の写真は、登別市らしさを出すため、採用した。
- ・文章、色合い、字の大きさは修正可能な範囲で修正する。
- ・安全、持続、強靱はキャッチフレーズのようなものなので、短く表現している。具体的のどのように取り組むかは、主要施策として記載している。
- ・P4 の内容を P16 に再掲したのは、P17 に記載があるため、分かるように配慮したためである。
- ・水道の総合計画は無い。今回作成するビジョンが水道事業運営のマスタープランであり、このビジョンをもって、各種計画を策定していく。
- ・P7、P12 のタイトルは修正する。

(次頁に続く)

検 討 委 員 会 内 容

(委員)

- ・ P10 のグラフは、一般の人にはわかりづらい。重要な図なので、見た瞬間に分かるようにした方がよい。

(事務局)

- ・ 資料編には大きく示している。本編の図は見やすく工夫する。

【意見交換】

(委員長)

- ・ ビジョンの施策を進めていくにあたって、進め方などについて、各委員より意見を頂きたい。その中から委員会からの提言として取りまとめたい。

(事務局)

- ・ 今回のビジョンに表現されていないが、進めるに当たって留意することや、水道事業運営に関することなどに対して意見を頂き、提言としてまとめたい。

(委員)

- ・ 計画は、短期、中期、長期の計画が必要。
- ・ 短期は、1、2年の計画、中期は、5年位でビジョンに則って進めていけばよい。長期計画としては、登別市単独では難しく室蘭市と共同事業としてやっていく必要があると考えられるため、今から摺り合わせが必要である。
- ・ 水道事業者向けのビジョンとしてはよいが、市民向けとしては内容が難しい。

(委員長)

- ・ 広域化については P24 に記載されているが、室蘭市とのことについては具体的に書かれていないため、意見として重要である。
- ・ ビジョンの内容について市民に分かりやすい言葉に修正できるのであれば、修正してほしい。

(委員)

- ・ 広域化の検討は出来るだけ早く着手した方がよいと思っている。
- ・ 人口減少はもっと早く訪れると思うので設備の更新など登別市のみで行うのは難しい。
- ・ 表紙の写真について、温泉と水はイメージが結びつかない。
- ・ 蛇口から直接水を飲むことができるのは日本の誇れるところであり、そのことを意識して伝えていく必要がある。
- ・ 安全な水を常にアピールしてほしい。

(事務局)

- ・ 写真については、登別市ということで固定概念があった。水・自然をイメージできるものを検討していきたい。修正したものについては、委員長に確認のうえ、委員の皆さんには再配付してパブリックコメントに臨みたいと考えている。

(委員)

- ・ 登別市が求めているもの、これをしなければならぬというものを感じられない。
- ・ 付加価値を出す、例えば理論的な根拠は難しいと思うが健康に良い水づくりをするなどできないものか。
- ・ 市民は安全な水は当たり前だと思っており、安全な水を提供することに費用が掛かることを市民に訴えかける必要がある。

(委員長)

- ・ ビジョンの内容やその取り組み等を解りやすく市民に伝える方法を検討してもらいたい。

(次頁に続く)

検 討 委 員 会 内 容

(委員)

- ・おいしい水づくりを検討してもらいたい。
- ・事業運営に関しては、専門知識を持った民間に委託することも検討の必要がある。
- ・地下水利用に関して、水資源保護の観点から何らかの規制や使用料などを徴収するなど検討できないか。
- ・新たな施設を作る際には市民が親しめる施設を作ってほしい。

(委員)

- ・ビジョンは議会に報告するのか。また、広報には載せるのか。
- ・室蘭との共同利用については考える必要はないと思っている。人員を現状維持して、技術を伝えていくのが大事である。人を減らせばよいというものではない。
- ・施設を更新していく必要があるため、計画を立てて、資金を積み立てておく必要がある。
- ・登別市民は自分がどこの水を飲んでいるかも分かっていない。市民へ知らせることによって、市民が水源に関心を持つと思われる。
- ・市民への情報提供が必要、どうして安全な水であるのか伝える必要がある。
- ・どのように市民の目を向けさせるか考える必要がある。

(事務局)

- ・議会（観光・経済委員会）にパブコメの実施として情報提供する。
- ・広報にはダイジェスト版を掲載する。
- ・全体版はホームページ、市役所、支所で見ることができる。
- ・PRの方法は模索している状況である。今後、検討していきたい。

(委員)

- ・カラーで綺麗でよい。
- ・字が小さい。見出しだけでも大きくしてほしい。
- ・水道管工事を行う際他の工事と実施時期を合わせてできないか。

(委員)

- ・ビジョンの本編は各家庭に配布されるのか。
- ・各家庭に配布するには難しすぎて、読まない。必要なことをだけ抜出してはどうか。
- ・朝起きて飲める水が蛇口から出るのはありがたい。
- ・値上げは仕方ないと思うが安全性をアピールして、いい意味で理解してもらわないと値上げは難しい。
- ・アンケートの結果で（やや高くなっても整備すべき）は33%であるが、半分くらいにしないと値上げは難しいと思う。

(事務局)

- ・各家庭へのビジョン全編の配布は予定していない。

(委員長)

- ・頂いた意見を基に私と事務局で提言書を作成し、第6回検討委員会で提示し、各委員の皆様にご確認して頂く。また、修正についても、私の方で確認するという事で各委員の皆様には承認して頂きたい。

(各委員)

- ・承認

4. 閉会

- ・都市整備部長より、第4回検討委員会から7～8か月空いた経緯を説明。
- ・第5回 登別市水道ビジョン検討委員会を閉会。